

秋吉台の響き コンサート2026

ヴァイオリン 漆原 啓子
川田 知子
玉井 菜採
会田 莉凡
ヴィオラ 須田 祥子
鈴木 康浩
大島 亮
チェロ 金木 博幸
大友 肇
向井 航
コントラバス 黒木 岩寿
ピアノ 田中 麻紀
鈴木 慎崇

モーツァルト：ピアノ四重奏曲第1番 第1楽章

スメタナ：弦楽四重奏曲第1番「我が生涯」第3楽章

ドヴォルザーク：弦楽五重奏曲第2番 第1楽章

シューベルト：弦楽五重奏曲 第1楽章

ブラームス：ピアノ五重奏曲 第1楽章

チャイコフスキー：弦楽六重奏曲「フィレンツェの思い出」第1楽章

2026.4.26 日 15:00開演 14:30開場

秋吉台国際芸術村ホール チケット料金：全席自由
一般 ¥3,000 大学生以下 ¥1,000

*当日券は共に500円増し *フレンズネット会員割引あり
*未就学児童のご入場はご遠慮ください

お問合せ・チケットのご予約先：秋吉台室内楽セミナー実行委員会（事務局・上原）

TEL & FAX：083-902-7100 Email：seminar@akiyoshi-hibiki.jpn.org

プレイガイド：秋吉台国際芸術村 山口情報芸術センター 山口市民会館 C.S赤れんが
宇部市文化会館 防府アスパラート 山口井筒屋 カワイ山口 三好屋

主催：秋吉台室内楽セミナー実行委員会

共催：公益財団法人山口きらめき財団 秋吉台国際芸術村

後援：山口県 山口県教育委員会 美祿市 美祿市教育委員会 山口県文化連盟 山口EU協会 山口日独協会



秋吉台の響き2026

一流講師陣が秋吉台国際芸術村へ集い、伝統の室内楽セミナーとコンサートを開催します。

新緑とウグイスのさえずる美しい自然に囲まれた秋吉台国際芸術村で、

素敵な音楽をお楽しみください。

漆原 啓子(ヴァイオリン)

高い技術力と深みある音楽性で飛躍する本格派ヴァイオリニスト。1981年東京藝術大学付属高校在学中、第8回ウィニャフスキ国際コンクールに於いて最年少18歳で日本人初の優勝と6つの副賞を受賞。翌年東京藝術大学入学と同時に本格的演奏活動を開始。86年ハレー・ストリング・クワルテットとして民音コンクール室内楽部門で優勝並びに斎藤秀雄賞を受賞。安定した高水準の演奏は音楽ファンのみならず音楽家の間でも非常に高い信頼を得ている。現在、国立音楽大学客員教授、桐朋学園大学特任教授として後進の指導にも力を注いでいる。

川田 知子(ヴァイオリン)

東京芸術大学を首席で卒業。1991年第5回シュポア国際コンクール優勝。ソリストとして国内外で活躍しているほか、コンサートミストレス、室内楽や後進の指導など多方面でも活躍。チェンバロの中野振一郎他、様々な器楽奏者との共演に意欲的に取り組んでいる。マエストロ・ミュージックより、ヴィオラの須田祥子との新譜「スターライト〜ヴァイオリンとヴィオラの二重奏〜」などCD11枚をリリースしている。宮崎国際音楽祭には毎年参加し、ピンカス・スーカマンと室内楽で共演。洗足学園音楽大学講師、東京芸術大学音楽学部非常勤講師。

玉井 菜採(ヴァイオリン)

桐朋学園大学在学中に、プラハの春国際コンクールに優勝。卒業後、スヴェーリク音楽院、ミュンヘン音楽大学にて研鑽を積む。この間、J.S.バッハ国際コンクール最高位をはじめ、エリザベト王妃国際コンクール、シベリウス国際コンクールなど、数々のコンクールに入賞している。平成14年度文化庁芸術祭新人賞、平成20年度京都府文化賞奨励賞など受賞。国内外で、活発な演奏活動を展開している。紀尾井ホール室内管弦楽団コンサートマスター、アンサンブルofトウキョウ・ソロヴァイオリニスト、東京クラシアンアンサンブルのメンバー。東京芸術大学教授。

会田莉凡(ヴァイオリン)

桐朋学園大学ソリスト・ディプロマコース在学中の2012年第81回日本音楽コンクール第1位、併せて4つの副賞を受賞。2010年第6回ルーマニア国際音楽コンクール全部門最優秀賞。ルーマニア国内4都市にてリサイタルツアーを行う。ソリストとしてルーマニア国立ラジオーオーケストラ、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団などと共演を重ねる。宮崎国際音楽祭、サイトウキネンオーケストラに毎年参加。CHANEL Pygmalion Days 2014アーティスト。2010年より11年連続で小澤国際室内楽アカデミー奥志賀に参加し、弦楽合奏では小澤征爾氏指揮のもとソリストやコンサートマスターを務める。NHK-BS「クラシック倶楽部」、NHK-FM「ベスト・オブ・クラシック」などに出演。これまでに岩澤麻子、鷺見健彰、徳永二男の各氏に、室内楽を小澤征爾、原田禎夫、川本嘉子、ジュリアン・ズルマンの各氏に師事。現在、京都市交響楽団特別客演コンサートマスター、札幌交響楽団コンサートマスターを兼任。

須田 祥子(ヴィオラ)

6歳よりヴァイオリンを始め、桐朋学園大学在学中にヴィオラに転向し、98年同大学を首席で卒業。これまでにヴァイオリンを室谷高廣、室内楽を名倉淑子、ヴィオラと室内楽を岡田伸夫らに師事。97年、第7回日本室内楽コンクール、99年、第7回多摩フレッシュ音楽コンクール、99年、第23回プレミオ・ヴィットリオ・グイ賞国際コンクール、2000年、第2回淡路島しづかホールヴィオラコンクールの全てのコンクールで第1位優勝。国内の数多くのオーケストラに首席として客演した他、宮崎音楽祭、倉敷音楽祭、鎌倉芸術フェスティバル、サイトウ・キネン・オーケストラ等に度々出演している。現在、東京フィルハーモニー交響楽団首席奏者、日本センチュリー交響楽団首席客演奏者、洗足学園大学非常勤講師。

鈴木 康浩(ヴィオラ)

桐朋学園大学卒業。ヴァイオリンを辰巳明子氏、ヴィオラを岡田伸夫氏に師事。第9回クラシックコンクール全国大会ヴィオラ部門第2位(1位なし)。第12回宝塚ベガ音楽コンクール弦楽部門第1位ほか受賞多数。サイトウ・キネン・オーケストラ、宮崎国際音楽祭管弦楽団などで活躍しながら、アンサンブル天下統一、TOKI弦楽四重奏団、王子ホールのランチタイムコンサートなど、室内楽にも力をいれて活動をしている。桐朋学園大学、昭和音楽大学、洗足学園音楽大学で講師を務め後進の指導にあたっている。読売日本交響楽団ソロ首席ヴィオラ奏者。

大島 亮(ヴィオラ)

桐朋学園大学研究科修了。第11回コンセル・マロニエ21弦楽部門第1位、第7回東京音楽コンクール弦楽部門第1位、第42回マルクノイキルヘン国際コンクールディプロマ賞受賞。ヴィオラスペース、木曾音楽祭、水戸室内管弦楽団、サイトウキネンオーケストラ等に出演。ソリストとして定期的にリサイタルを開催するほか、室内楽奏者としても積極的に関与している。岡田伸夫氏に師事。現在、神奈川フィルハーモニー管弦楽団首席奏者。

金木 博幸(チェロ)

札幌生まれ。1979年桐朋学園高校音楽科卒業。同年、日本音楽コンクール第2位入賞。翌年、東京国際音楽コンクール第1位入賞。斎藤秀雄賞受賞。上原与四郎氏、青木十良氏に師事。1981年に渡独、1984年北西ドイツ音楽大学首席卒業。シュトゥットガルト国際チェロコンクール最高位入賞。スイス南部ルガーノ放送響メンバーとして活動。1991年東京フィルハーモニー交響楽団首席チェリストに就任。東京フィル、東京シティ・フィル、札幌交響楽団等と協奏曲を共演。オーケストラプレイヤーとしての活動も加え、各地でのリサイタル等、ソリスト、室内楽奏者としても多彩な活動を展開し高い評価を得ている。

大友 肇(チェロ)

桐朋学園大学卒業。在学中より活動開始した弦楽四重奏団クワルテット・エクセルシオをはじめ、主に室内楽奏者として活躍している。東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団の客員首席奏者、紀尾井室内管弦楽団メンバー。大阪国際室内楽コンクール弦楽四重奏部門第2位。第5回パオロ・ボルチアーニ国際弦楽四重奏コンクール最高位。弦楽四重奏での録音のほか、バッハの無伴奏組曲や小品を収めた『バッハ&フォーレ』『バッハ&カサド』をナミレコードよりリリースしている。財団法人日本チェロ協会評議員。

向井 航(チェロ)

関西フィルハーモニー管弦楽団特別契約首席チェロ奏者。オーケストラの首席奏者をつとめながら、スタジオミュージシャンとしてクラシック、ポップス、ロック、ジャズのライブサポートやレコーディングなど、多方面で活躍するチェリスト。ソリストとして、これまで札幌交響楽団、関西フィルハーモニー、Georgian Sinfonietta、Tbilisi Conservatorium Orchestra、京都フィルハーモニー室内合奏団と共演。国内外のオーケストラからゲスト首席奏者として招聘され、Georges Enesco Festival、Tbilisi Baroque Festivalなど世界各国で演奏する。向井航ストリングス(向井航と仲間たち楽団)を主宰。クラスタシア、CANTHANA、まつきとわたるとはなこのトリオ、Future Orchestra Classicsメンバー、PMFには、ジュニアフェロー・メンバーとして2000年に参加。今年はPMFセクション・リーダーとしてアカデミー・メンバーを牽引する。

黒木岩寿(コントラバス)

東京芸術大学卒業、同大学院修士課程修了。安宅賞、福島賞を受賞。1997年~2004年東京芸術大学管弦楽研究部講師。2001年~2008年神奈川フィルハーモニー管弦楽団首席コントラバス奏者。2009年に東京フィルハーモニー交響楽団に移籍、首席コントラバス奏者に就任し、現在に至る。2016年から2021年までムジカー・サのプロデューサーを務め、2019年には長野市芸術館のプロデューサーに就任。現在、桐朋学園芸術短期大学、洗足音楽大学、昭和音楽大学講師。

田中 麻紀(ピアノ)

東京芸術大学付属高等学校を経て、同大学卒業。ユーゴスラヴィア国際フェスティバルに日本使節団として参加。PTNAコンペティションDUO(二台ピアノ)最優秀賞受賞。ドイツ・シュトゥットガルト音楽大学大学院卒業。津田ホールにてデビューリサイタルを行い好評を得る。シュポア国際ヴァイオリンコンクールにおいて、カリン・エルスナー賞(最優秀伴奏賞)受賞。川崎音楽コンクールにおいて、ベビシュタイン賞(最優秀伴奏賞)受賞。第4回日本室内楽コンクール第1位。あわせて東京都知事賞受賞。91年から94年まで東京芸術大学弦楽科伴奏助手を務める。これまでに、八木英子、吉川京、故安川加寿子、故谷康子、中山靖子、コラント・リヒター、ギョンター・シュミットの各氏に師事。現在は、ソロ、室内楽など幅広く演奏活動を行っているが、特にアンサンブルピアニストとして定評がある。

鈴木 慎崇(ピアノ)

札幌市出身。東京芸術大学音楽学部卒業。在学中、学内においてアリアドネ・ムジカ賞受賞。三角祥子、北島公彦、角野裕の各氏に師事。幼少よりさまざまなコンクールで入賞する。第51回全日本学生音楽コンクール、第71回日本音楽コンクールにて、それぞれ第1位。国内外の音楽祭、コンクールにおいて公式伴奏者を務めるなど、伴奏、室内楽にも活動の場をひろげている。最近では、オーケストラの演奏会に鍵盤楽器奏者として度々出演している。現在、洗足学園音楽大学非常勤講師として、後進の指導にあたっている。

秋吉台室内楽セミナー 秋吉台の響き2026

4月26日(日)~4月29日(水・祝)

秋吉台国際芸術村は、ホール、研修室や宿泊施設等を備えた滞在型芸術施設で、これらの施設をフル活用して、毎年室内楽セミナーを開催しています。

講師陣は、金木博幸(東京フィルハーモニー交響楽団首席チェリスト)、漆原啓子、川田知子、須田祥子をはじめ国内外で活躍している一流の演奏家の方々です。

セミナーは初心者からプロを目指す方まで受講でき、楽器を弾かない方でも聴講生として参加できます。

世界的アーティストたちの レッスンを公開 ~聴講生制度について~

秋吉台室内楽セミナーでは、レッスンを公開する聴講生制度を設けています。全てのレッスンを聴講できます。

聴講料は、1日につき2,000円
(山口県在住者1,500円・高校生以下無料)
※お問い合わせ、資料請求は下記セミナー実行委員会まで。

アクセス



- 山口宇部空港から車で約1時間
- 中国自動車道美祢東JCTより
小郡萩道路秋吉台ICから車で約5分
- JR新山口駅から車で約40分
- JR新山口駅から東萩行きバスで
大田中央バス停下車、タクシーで約5分
- JR新山口駅から秋芳洞行きバスで
秋芳洞バス停下車、タクシーで約5分

問い合わせ先

秋吉台室内楽セミナー実行委員会
TEL & FAX: 083-902-7100
Email: seminar@akiyoshi-hibiki.jp.org

秋吉台国際芸術村
〒754-0511 山口県美祢市秋芳町秋吉50番地
TEL: 0837-63-0020
FAX: 0837-63-0021